

九州大学海外派遣留学生 最終報告書

- ※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
- ※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	香港大学 (国名: 中 国)	
留学先学部名(またはプログラム名)	Faculty of Arts	
留学期間	2012 年 9 月 ~ 2013 年 6 月	
学部/学府・年次	文学部	3 年次~ 4 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・ <input checked="" type="radio"/> (期間:)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため	
	4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	3年前期までになるべく多く単位を取得しておくように心がけた。	
進路の予定	①. 就職 (時期: 4月から) 2. 大学院進学(大学 学府/研究科) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	6月中旬から就職活動を始める予定です。	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	はい	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	まだ就活を初めていないため、 確証を持つては言えませんが、 役に立つと思います	
1. 留学先大学について		

<p>授業(カリキュラム等)の概要について</p>	<p>香港大学の授業は基本的に2時間の lecture(講義)と1時間の tutorial(ディスカッションやプレゼンテーション)から構成されています。私の所属していた Faculty of Arts では tutorial でディスカッションをする授業がほとんどだったのですが、Faculty of Business はプレゼンテーションに重きを置いていたり、Faculty of Social Science ではディスカッション、プレゼンテーションに加え、フィールドワークも行ったりする、というように tutorial の内容は学部や授業ごとにより異なっていました。</p> <p>また、学期全体の単位のうち、半分は所属学部の授業から取らなければいけないことになっています。本課の学生は大体週に5コース前後取っていましたが、留学生は3~4コース取っている人が多かったです。授業の時間数は日本の大学よりも少ないですが、課題が大量に出るため、勉強はかなりハードでした。</p>
<p>留学先大学のサポート体制について (語学面/勉学面/精神面/住居・生活面など)</p>	<p>日常生活で必要なので、広東語の授業はまず受けておいた方がいいと思います。勉強スペースは図書館や Learning Commons と呼ばれる3階立ての勉強室があり、最高の学習環境が整っています。また、学内は備え付けでパソコンがある以外にも、安定した Wifi が飛んでいるので、自分のパソコンを学校に持ってきてすぐにネットにつながるため、便利です。</p> <p>住居に関しては、私の寮は向かいのビルに寮を管理しているオフィスがあったので、何かあればそこに言えば解決していたので、安心でした。オフィスの係の方々も皆さんフレンドリーで、とてもよかったです。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>現地の香港人の学生も、海外からの留学生もとても勉強しているのが印象的でした。かなり大きな学習室があるのですが、いつも大勢の学生が机に向かって課題をこなしていました。</p> <p>しかし、勉強だけでなく、サークル活動も活発で、エネルギーに満ち溢れた大学だと思いました。</p> <p>また、2012年9月から新キャンパスがオープンしたため、授業が行われる教室は新しく、とてもきれいです。数年後には地下鉄(MTR)から直接乗り入れできるようになるらしいです。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人 たちへのアドバイス</p>	<p>最初、勉強がとても大変だと思いますが、諦めず、予習、復習をこなし続ければ付いていけるようになります。頑張ってください。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>Student visa</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港大学</p>
<p>必要書類、手続き 方法</p>	<p>香港大学から指定された書類を九州大学の留学生課経由で香港大学に送りました。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>約3か月</p>
<p>その他必要な事前 手続き</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	食事は安くて美味しいものが多いので、食事に関してはとてもよかったです。また、香港は面積が小さいとはいえど、見て回るところがたくさんあるので、休みの日には勉強の息抜きも兼ねて香港観光をしていました。高層ビル群がそびえ立つ都会から、ハイキングに最適な山やきれいなビーチまで揃っているところが香港の魅力の一つだと思います。離島の方にも魅力的なところはたくさんあるので、香港に留学に行く方は是非離島にも足を運んでみてください。
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	生活費計 約5万円/月 (生活費内訳)住居費: 0 円、光熱水料: 1000 円、通学費: 3000 円、食費: 約2万5千円、電話代: 0 円、インターネット代: 0 円、書籍代: 5千円 その他:(具体的に) 衣服代:3千円 交遊費:1万3千円 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 0 円 (徴収された費用の名目を具体的に:)
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	パソコンは必須。コンセントのアダプターはBFタイプを持って行ってください。変圧器は、私は使いませんでした。持っていく電化製品で変圧器が必要なものがあれば持参すると思います。また、日本食は現地でかなりの種類がそろっているので、あまり持っていく必要はありません。
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	治安はあまり悪くないように感じました。夜道を一人で出歩くなどしない限り大丈夫だと思います。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	日本からのお金の送金はシティバンクのeセービングかキャッシュパスポートをお勧めします。どちらも日本円で入金して、香港で香港ドルで引き出すことができるので便利です。 クレジットカードは現地で口座を開くのであれば、現地でも作れますが、一枚日本で作っておくと便利です。 ASEP の奨学金を受給する場合は、現地の銀行口座が必要です。HSBC と東亜銀行は大学内に支店があるので、そのどちらかで口座を作ると良いでしょう。ただし、学期の初めは口座開設をする人が多いため、口座開設のために1か月待たないといけない場合もあります。

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・寮 ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	Patrick Manson Student Residence, 7 Sassoon Road, Pokfulam, Hong Kong	
費用(月額)	ASEP奨学金で免除。(本来は一学期 4000HKD-6000HKD 程度)	
どのようにして見つけたか	香港大学から指定されました。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	<p>推薦できない。</p> <p>部屋が狭く相部屋なため、プライバシーはない。寮の中では最も大学から離れている。独自の文化を持つ Hall という寮ではない(Non-Hall Residence)なので、香港大学の寮文化を体験したい人には物足りない。プライバシーを重視したいのであれば、学外のアパートで個室を探した方が良く、寮文化を体験したい人は Hall に入った方が良く思う。</p> <p>しかし、留学生が多い寮なので、留学生の友人を作りたい人には良いかもしれない。</p>	
留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	<p><住居について></p> <p>ここ数年留学生が寮に入れないことが多くなっているようです。もし寮に入れなかった場合は自分で部屋を探さないといけません。CEDARS が Off-campus のアパートを紹介しているので、それを利用すると思います。いい物件(学校の近くにあるものや家賃が高くないもの)に決めたいのであれば、なるべく早く(できれば8月中に)現地入りして部屋探しすると良いようです。また、最初に寮から外れても、CEDARS と交渉し続ければ、寮の部屋が空いたときにすんなり入れることもあるようです。</p> <p><携帯について></p> <p>留学生の多くは①現地でスマートフォン、プリペイド SIM カードを買う、②日本から持ってきたスマートフォンを常時機内モードにして wifi 経由のみで利用し、現地で電話用のみの安い携帯電話を買う、のどちらかでした。プリペイド SIM カードは 2000 円くらいで3~4か月は使えました。</p>	
5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
The University of Hong Kong	http://www.hku.hk/	香港大学の Web サイト
HKU Portal	https://hkuportal.hku.hk/login.html	香港大学のポータルサイト。ここで履修登録や成績確認を行ったり、moodle を通じて授業の課題や資料をダウンロードしたりする。
HKU OICE	http://www.als.hku.hk/admission/exchange/	交換留学生の窓口である OICE のサイト。留学までの流れがまとめてある。Buddy 登録もここで行う
香港ナビ	http://www.hongkongnavi.com/	香港の観光情報をまとめているサイト。

--	--	--

6. その他の特記事項

--